

義務教育施設

老朽度、環境花木の管理は 環境点検表を作成し管理



やのしょうぞう
矢野昭三議員

する場所、又樹木伐採が必要な場合は校長から報告を受け、軽微な修繕は学校が行い、軽微で無い場合は教育委員会が対応している。これまで評価基準を設げずに実施して来たが、学校環境点検表を作成し維持管理をしている。危険箇所の安全対策について取り組む。

問 学校給食センターの食材等の確保は十分か問う。

答 宮川 教育長

食材等の確保は地元の生産者、事業者を始め他市町村の給食センター等取引実績のある業者から調達し、安定的な食材の確保に努めている。

現在、お米に関してても

町内調達が原則だが、不足分については、町外から調達して子ども達には腹一杯ご飯を食べて頂きたい、と思つて取り組んでいる。

宮川 教育長

働く場の確保

企業用地・誘致 将来を見据え 取り組む

問 熊井、佐賀インター付近に企業用地の確保と誘致企業を問う。



拳ノ川小学校の通路幅 1.1m ~ 1.7m 高さ 0.85m 危険

答 大西町長 令和3年度以降、佐賀地区で5力所、伊與喜熊井、藤繩で2力所、計7力所の概略調査完了。課題等について調整を図りながら取り組みを進める。

産業は命、この産業施策をいかに進めていくかに本町の将来が懸つていいと言つても過言ではない。各種政策、財政再建も進めていかなければならぬ。

将来もしつかり見据えた政策を必ずやつて行かなければならぬ。その両立をしつかりとやつていくので注視頂ければと思う。

【その他の質問】
食べ物生産。伊与木川洪
水対策。土佐西南大規模
公園整備